

# 鵜川むかわ町水害タイムライン 第2回検討会

平成30年6月28日(木)にむかわ町四季の館において、「鵜川むかわ町水害タイムライン第2回検討会」を開催しました。タイムラインは、鵜川で風水害が発生する可能性がある際に、早い段階から関係機関が連携して地域住民及び防災対応者の安全確保を図るための事前防災行動計画です。鵜川下流域での氾濫発生を想定し、平成30年度に5回の検討会を行って「鵜川むかわ町水害タイムライン試行版」を策定、運用開始を予定しています。



【実施日時】 平成30年6月28日(木) 13:30~17:00

【実施場所】 むかわ町四季の館 1階研修室

【参加者】 日高町・防災関係機関 25名  
(座長・アドバイザー・事務局等含む)

## 1. 開会

開会に際し、むかわ町の竹中町長から開会挨拶がありました。竹中町長は、「近年全国各地で起こっている様々な災害やその発生の確率を踏まえ、災害における意識の維持、より適正な防災体制の随時確認をしながら、地域防災力の向上はますます求められてきていると感じる。本日の検討会では、グループワークを通してリアリズムを持ち、想像力を働かせながら住民の皆様の安全を最優先に考え、関係機関との連携防災をさらに高められるむかわ町独自のタイムラインを作っていきたい。」とお話されました。



## 2. 災害シナリオ・リスクについて

室蘭開発建設部旭上席治水専門官より、鵜川むかわ町水害タイムライン検討会設置要綱の修正について、前回災害シナリオ・リスクで使用した台風経路図の変更点、水防警報等の発表イメージ図の追加、災害シナリオ・データ一覧と氾濫発生後の移動困難エリアの表示についての追加資料について説明があり、参加者で共有しました。



## 3. ワークショップ

黒木座長の進行にて、ワークショップを行いました。初めに事務局からワークショップの進め方の説明を行い、2テーブルに分かれてグループワークを開始しました。「意思決定グループ」では、むかわ町が行う意思決定事項の内容とタイミング及び支援機関の情報提供内容等について、「対策部グループ」では、総括部、広報部、情報収集・応急対策部、避難・救援対策部に分かれ、各部署における防災行動の具体的な内容や実施タイミングの検討を行いました。検討結果は事務局で持ち帰り、整理とりまとめを行った上で「タイムライン素案」として第3回検討会での検討素材とする予定です。



## 4. 講評・閉会

本日の検討会全体を通して、志田アドバイザー、黒木座長からそれぞれ講評を頂きました。志田アドバイザーは「現在の気象情報は詳細な分布情報まで出るようになってきているので、ぜひ普段使いをしてほしい。今回の検討会で、いろいろな判断について場所の状況を心配しながら話し合う様子が見られたが、現時点での状況を把握して動くということもとても重要。気象庁ホームページを見て知識をつけていただき、疑問などがあればぜひ次回の検討会で解決してほしい。」とお話されました。黒木座長は「今回は2つのグループがそれぞれに検討したが、今後はお互いにコミュニケーションをとりながらタイムライン作成について話し合ってもらいたい。次回は関係機関も参画するので、わからないことなどをぜひ専門機関の方に質問して解決していただきたい。」とお話されました。

最後に、司会から次回の検討会は8月上旬を予定していることが伝えられ、第2回検討会は終了となりました。

